

時間	子どもの生活	保育者の援助・配慮	備考
7:00	登園 視診 所持品の始末（お便り帳・タオルなど）	○保育室の換気・安全・清潔を点検し、受け入れの準備をする。 ○記名されたところにタオルをかける。	
	自由遊び 順次登園	○子どもが安心して過ごせるように職員の配置、体制を整え安全に遊べる玩具などを用意する。 ○にこやかに朝のあいさつを交わし、子どもの健康状態や機嫌をよく見て受け入れる。 ○異常を発見したときは、適切に対応する（特に体調不良・目の充血・外傷 など）。 ○水分補給のための水をいつでも飲めるように用意しておく。	●オムツで排便のあとは、必ず洗い流し清拭する。
9:00	片づけ 検温 排泄	○みんなで一緒にお片づけをする ○嫌がらずに検温出来るように声掛けする。 ○子どもと遊びながら、ひとりひとりの排せつのタイミングを計り、トイレに誘う。または、オムツの交換をする。	●ひとりひとりのタイミングで排せつに誘う。 ●または、オムツの交換をする。
9:15	朝のおやつ・水分補給 体操	○水分を嫌がらずに飲むように声かけする。 ○体操を楽しんでする。	●遊びの最中でも、おやつの準備を整え、子どもが自分で気持ちの切り替えができるように言葉をかけ、誘う。
9:50	子供礼拝	○静かに礼拝に参加できるように配慮する。	
10:00	喜んで参加する		
10:10	朝の会 おはようの歌 出席をとる 手遊びなど お祈りをする	○保育者の体制を整え、遊びを楽しく展開させていく。配慮して、ひとりひとりが落ち着いて遊びたい年齢的にかみつき・ひっかきが出やすいことを考慮して遊べるように柔軟に環境をとらえ、いっしょに遊びながら子どもに合わせた転換や提供ができるように配慮していく。	
	設定保育 （カリキュラムに沿って） 片づけ 排泄・手洗い （おむつ交換）	○喜んで片づけるように声掛けする。 ○順に手洗いを援助し、水分補給する。	
	昼食の準備 食事の歌 食事のお祈り	①昼食のための準備にかかる。 ②遊びのようすを見ながら順に手を洗い、足を洗い、汚れた衣服を着替えさせる。 ③準備ができた子どもに食事のための手ふきを用意し、落ち着いた雰囲気ですぐに食事が始められるようにする。	●アレルギー食の配慮。 ●テーブル消毒。 ●季節によっては、シャワーをして、気持ち良く食事ができるように配慮する。
11:00	食事 楽しく食事をする	○楽しく食事ができるように保育者もいっしょに食べ、食事への意欲をはぐくむように援助する。 ○手づかみやスプーンを持ってひとりで食べられるようになるための援助をする。 ○食べ終えたら、「ごちそうさま」のあいさつをして、手や口元をきれいにぬぐい汚れた衣服を着替えさせる。	●食べこぼしはふいて清潔を保つ。
	片づけ 午睡の準備 お着替えをする 歯磨きをする	○着替えて午睡までの間、ゆったり遊ぶ。 ○「ジブンデ」という自己主張を受け止め、見守る。または必要に応じてさりげない援助を行なう。	●室内の温度・遮光・寝具の用意など徐々に同じ生活リズムになっていくので、柔軟に適切に対応する。
12:20	絵本視聴する。	○午睡のための環境を整える。	
12:30	午睡	○ひとりひとりの生理的な要求に配慮して順次寝かせていく。 ○時には添い寝をして、安心して眠りにつけるように配慮する。 ○午睡時は必ず付き添い、ハプニングに備える。	

2025年度

マリヤ組（1歳児）のデイリープログラム

時間	子どもの生活	保育者の援助・配慮	備考
14:30	目覚める 排せつ (おむつ交換)	○しぜんに目覚められるように明かりを取り込み、換気を行ない、優しく言葉をかけて起こす。 起きた子どもからトイレに誘い、排せつの援助をする。オムツ交換をする。	
	手洗い	○自分でしたいという意欲のない子どもへは、自分でできるようになることの楽しみや自信を持たせ、意欲をはぐくむように言葉をかけて励ます。	
15:00	おやつ お祈りして頂く。	○手洗いの手順や方法を覚えていくように洗ってやる。 ○食事時間と同じく配慮を行なう。	●アレルギー食の注意。
15:45	片づけ 帰りの会 絵本読み聞かせなど お帰りの歌など	○自分の場所で整列する。	●健康状態、けがの有無、お迎えの変更の有無などがあるときは、担任に伝える
16:00	バスの子はバスに乗る バス出発 順次降園 遊び	○お迎えまでの時間を安定して遊んで過ごす。 ○子どもが十分に満足できるように保育者もいっしょに遊ぶ。 ○落ち着いて遊んで過ごせるように玩具の種類を増やす。外遊びで変化をつける。 ○満足した生活が送れるように保育者の連携のもと安全に十分に配慮して過ごす。 ○手洗いや排せつはひとりひとりに合わせて適切に行なう。 ○お迎えに合わせて、身支度を整えて遊びながら待つようにする。 ○保護者のお迎えに合わせて、機嫌よくお別れができるように過ごす。 ○長時間の保育で残っている子どもが寂しくならないように相手をしながら、お迎えの保護者とのコミュニケーションを図り、「さようなら」のあいさつとともにお別れする。 ○忘れ物がないか見届ける。 ○玩具のかたづけをいっしょにする。	●本日の子どものようすや、特記事項などを日誌に記入する。
17:00	かたづける (オムツ交換)		●担任以外の保育者とのかわりがあることで、人見知りや場所不安を示す場合があることを予測し、甘えや不安な気持ちをしっかり受容して安定して生活できるように過ごす。
18:00	保育終了	○明日の受け入れのために保育室を整えて終了する。	